



National Institute of Technology, Toyama College

02 商船学科卒業証書・海事システム工学専攻修了証書授与式

04 学生のクラブ活動・課外活動

06 高専ロボコン

08 県外工場見学・流通見学・乗船実習

10 県内工場見学・企業見学(3年生)/工場見学・遠足(2年生)

12 ICET2016

13 合同球技大会

14 教務主事からのメッセージ

15 News & Topics

16 学生相談室からのお知らせ・入試情報



平成28年度

商船学科
卒業証書

海事システム工学専攻
修了証書

授与式

Commencement



思い出を胸に人生の航路を切り開く

商船学科航海コース
卒業生

水上 千嘉



5年半を振り返って

学校に入学してから卒業するまで、今思うと長かったようであっという間の5年半でした。球技大会やカッターレース大会、北斗祭などの学校行事を通じてクラスの仲間や多くの学生と交流を深めることができました。なかでも、カッターレース大会で商船学科の女子艇として参加できたことが一番の思い出です。みんなで団結して4回の優勝を勝ち取ることができました。

最初の航海実習では、天候により予定の変更が頻繁にあって戸惑うことも多くありました。また船の揺れによる酔いにも悩まされました。ですが、とっさの判断力や忍耐力が養われたと思います。遠洋航海では、限られた空間の中で外部との接続がない周り一面が海の上での集団生活で、色々問題がありましたが、お互いが切磋琢磨し成長することができました。

私には夢があります。この5年半の経験は、一般の高校では体験できない貴重なものでした。この経験を生かして夢が実現できるように努力していきたいです。

海事システム工学
専攻修了生

小関 修治



修了を迎えて

実習も含めると、7年半在籍した学び舎をとうとう離れることとなりました。過ぎ去って今振り返ると、本当に7年半も経ったのかと驚くほどあっという間に過ぎていったように思います。専攻科で学んだ2年間、観測のために乗船していたことや、論文のために机に向かっていた日々が懐かしく思い出されます。

就職して1カ月が経ちました。今は船員として、操船や整備作業に明け暮れる日々を送っています。毎日新しい学びがありますが、同時に学校や実習で学んだことが役に立つ場面が多くあります。学んだ知識が経験につながり、そして自分の技術として実を結んでいくのだと感じます。そう思うと知識や経験を授けてくれた母校や航海訓練所への感謝を感じずにはいられません。今こうして船員としていただけるのも、熱心に指導してくださった教官方、職員の方々、そして保護者の方々のおかげです。ここに感謝の意を表します。ありがとうございました。

平成28年度卒業生・修了生

商船学科／航海コース18名、機関コース22名 海事システム工学専攻／1名

主な進路(五十音順)

商船学科

■就職先

宇部興産海運(株)、オーシャントランス(株)、川近シップマネージメント(株)、川崎汽船(株)、佐渡汽船シップマネージメント(株)、(株)商船三井、商船三井客船(株)、商船三井フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、(株)ダイトーコーポレーション、東洋ガスメーター(株)、ニッスイマリン工業(株)、日本海運(株)、日本通運(株)、日本郵船(株)、福寿船舶(株)、ボルテック(株)、郵船クルーズ(株)、SECOJ(公益財団法人日本船員雇用促進センター)、Unix Line Pte Ltd

■進学先

神戸大学海事科学部、東京海洋大学海洋工学部、秋田大学理工学部、鹿屋体育大学、富山高等専門学校専攻科

海事システム工学専攻

■就職先

エスオーシーマリン(株)



学生表彰

本校表彰規程によるもの

名称	航海コース	機関コース	海事システム工学専攻
学業優秀賞	川島 優軌	長井 勁哉	小関 修治

学会表彰(学科から学会等に推薦するもの)

名称	航海コース	機関コース	
日本航海学会奨学褒賞	田中 布美恵	—	
日本船舶海洋工学会奨学褒賞	渡辺 千尋	江尻 光輝	
海技教育財団会長賞	門野 公祐	水野 佑哉	
全日本船舶職員協会賞	高木 基志	松岡 亮兵	
日本機械学会畠山賞	—	麦谷 知美	
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞(山下勇賞)	—	高橋 康介	

平成28年9月27日(火)午前10時より、富山高等専門学校射水キャンパス第2体育館において、平成28年度商船学科卒業証書授与式及び専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が挙行されました。

まずは本校の石原外美校長から、航海実習用の白い制服に身を包んだ商船学科卒業生40名へ卒業証書が、専攻科海事システム工学専攻修了生1名へは修了証書が手渡されました。

この後、石原校長から、「社会に出てから解決を求められる問題は、正解が1つだけという単純なものではない。本校で培った基礎力をもとに自ら学び解決してほしい。また人との出会いを大切に、常に新しいことに挑戦し続けてください」との告辞があり、引き続き全日本船舶職員協会の及川武司専務理事からは、新たに社会へ船出する卒業生たちへの温かいはなむけの言葉が祝辞として贈られました。

続いて、在校生代表の瀬見井佐和子学生会長(国際ビジネス学科4年)からの送辞を受け、卒業生・修了生を代表して黒瀬薫さんが、本校での学びと経験を通して成長できた喜びと支えてくれた周囲の方々への感謝の気持ちを述べ「本校での思い出と経験を胸に、人生の航路を切り開いていきたい」と力強く答えました。

最後に卒業生たちは、帆船の出航時に船乗りが来客に対し謝意を伝えるために行われる「登檣礼(とうしょうらい)」の儀式に倣って「ごきげんよう」を三唱した後、制帽を投げるパフォーマンスを行い、出席者からは卒業生たちの新たな人生への船出を祝って大きな拍手が贈られました。



商船学科実習生
担任

八賀 正司



失敗しても、一歩ずつ前へ、そして道は開ける

商船学科24期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。平成23年の4月に入学された君たちの5年半の学生生活はどうでしたか？ 2年生の電気電子工学、3年生の電子回路工学、5年生の計測自動制御工学の授業で皆さんの顔を拝見しておりましたが、卒業式に「ごきげんよう」と挨拶してくれた顔が一番最高によかったですよ。

この学校で得ることのできたたくさんの思い出と学びと経験を糧にこれからの君たちの人生の航路を切り開いてください。君たちの人生において何事にも真剣に取り組むべきことは言うまでもありません。しかし、いくら一生懸命にやってもどうにもならないと思える場面に遭遇することはあるはずです。そんなとき、行く手に山が立ちふさがっても、そこに道は自ずと開けます。嵐は同じ所にずっと居座ることはありません。何事にも真剣に取り組むことは、完璧にできなくても、失敗してもあなたの成長の糧となり、何もしない言い訳よりずっと素晴らしい一歩になります。精一杯いきるあなた方一人ひとりのご活躍を祈っております。

海事システム工学
専攻担任

経田 僚昭



今後の活躍を期待します

小関君、専攻科海事システム工学専攻修了おめでとうございます。山本先生から担任を引き継ぎ、計画書の提出から担当させていただきました。就職先として希望通り船員の道を歩むことになると本人から報告を受けたときの嬉しそうな顔は今でも印象に残っております。

修了に向けた書類提出に関わり、その他、夏の親子体験イベントで、若潮丸にスタッフとして一緒に乗船した際には出入港作業、船内案内やお客さんの対応においても数名の本科生を率いながらリーダーシップを発揮しておりました。そして、最後の特別研究の成果発表会においては自分の研究成果を説明しながら質疑応答でも丁寧に回答していた姿を示しておりました。専攻科2年間での成長を確認しております。

これからの新たな道では、多くの障害が立ちほだかります。本科5年半の経験と専攻科2年間の経験で得た知識・技能に自信を持って取り組めばいつの間にか解決させているくらいの力を身につけています。これからのさらなる成長と飛躍に期待しております。

学生のクラブ活動・課外活動

第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」に出場！

平成28年10月1日(土)～11日(火)に開催された第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」にゴルフ競技、セーリング競技、陸上競技に出場しました。

ゴルフ競技女子

女子個人 青山 颯希(国際ビジネス学科1年)
女子団体 青山 颯希(国際ビジネス学科1年)

セーリング競技

少年男子420級
佐川 拓夢(商船学科3年)
宮下 司(商船学科3年)
少年男子レーザーラジアル級
江洲 優希(電子情報工学科3年)

陸上競技

少年男子B100m 五十嵐 晴紀(商船学科1年)
少年男子B砲丸投 舘田 瑛史(電子情報工学科1年)

バドミントン女子ダブルス優勝！

第51回全国高等専門学校体育大会

平成28年8月17日(水)～9月2日(金)
水泳競技、陸上競技、剣道、柔道、テニスでも優秀な成績をおさめました！

バドミントン競技

平成28年8月20日(土)・21日(日) 高岡市民体育館

女子個人ダブルス **1位** 池田 真子(国際ビジネス学科5年)
中野 三恵子(商船学科4年)
女子団体 **3位**



40回 全日本高等専門学校バドミントン大会



水泳競技

平成28年8月21日(日) 富山県総合体育センター

女子背泳ぎ50m **2位** 平井 若菜(物質化学工学科2年)
男子100m背泳ぎ **3位** 山元 樹(電子情報工学科1年)
男子200m背泳ぎ **3位** 山元 樹(電子情報工学科1年)



テニス

平成28年8月25日(木)・26日(金)・27日(土)
岐阜メモリアルセンター 長良川テニスプラザ

女子個人ダブルス **3位** 金山 仁美(物質化学工学科4年)
木下 彩(物質化学工学科3年)

剣道

平成28年8月27日(土)・28日(日)
スカイホール豊田(豊田市総合体育館)サブホール

男子個人戦 **準優勝** 木倉 健成(機械システム工学科3年)



陸上競技

平成28年8月24日(水)・25日(木)
パロマ瑞穂スタジアム(名古屋市瑞穂公園陸上競技場)

男子砲丸投 **1位** 舘田 瑛史(電子情報工学科1年)
男子110mH **3位** 堀井 直樹(商船学科4年)
男子円盤投 **3位** 上田 啓太(商船学科3年)
女子総合 **3位**
女子円盤投 **1位** 地村 栄(国際ビジネス学科5年)
女子100m **2位** 松本 英里(国際ビジネス学科4年)
女子200m **2位** 松本 英里(国際ビジネス学科4年)
女子やり投 **2位** 二塚 咲来(国際ビジネス学科3年)

柔道

平成28年8月27日(土)・28日(日) 石川県立武道館

男子90キロ超級 **3位** 竹脇 壯志(電子情報工学科4年)
男子90キロ級 **3位** 梶谷 尚希(機械システム工学科4年)
女子63キロ級 **3位** 本田 和香奈(物質化学工学科2年)





Club Activities

第3回全国高等専門学校弓道大会

平成28年8月23日(火)・24日(水)




維新百年記念公園弓道場

- 女子団体戦  瀨住 和加(物質化学工学科2年)
曾我 夏未(電気制御システム工学科3年)
穴見 涼寧(電気制御システム工学科2年)
- 女子個人戦  中谷 実穂(物質化学工学科3年)

第23回全国高等専門学校将棋大会

平成28年8月24日(水)・25日(木)・26日(金)

群馬県前橋中央公民館

- 男子団体戦  湊 開誠(機械システム工学科5年)
野村 俊光(物質化学工学科5年)
笹原 涼(電気制御システム工学科3年)
- 男子個人戦  湊 開誠(機械システム工学科5年)
- 女子個人戦  湊 梨緒(物質化学工学科1年)

第32回富山県高等学校新人水泳競技大会で 女子総合2位入賞！

第32回富山県高等学校新人水泳競技大会

平成28年10月2日(日) 富山県総合体育センター

- 女子総合  2位
- 女子50m背泳ぎ  優勝 平井 若菜(物質化学工学科2年)
- 女子100m背泳ぎ  2位 平井 若菜(物質化学工学科2年)
- 男子100m背泳ぎ  2位 山元 樹(電子情報工学科1年)
- 男子100mバタフライ  3位 山元 樹(電子情報工学科1年)



第27回全国高専プログラミングコンテストで 特別賞(競技部門、全国ベスト8)を受賞！

平成28年10月8日(土)・9日(日)

伊勢市観光文化会館

第27回全国高専プログラミングコンテストにおいて、チーム名「進歩:ゼロから始める徹夜生活～輝く単位は僕らの幻想～」(電子情報工学科4年 渡邊孔英さん、電子情報工学科2年 藤野裕時さん、電子情報工学科5年 浦上拓人さん)が日頃の成果を十分に発揮し、競技部門で全国ベスト8に入り特別賞を受賞しました。

吹奏楽部(本郷キャンパス)第27回定期演奏会

平成28年11月6日(日)

富山県教育文化会館

吹奏楽部(本郷キャンパス)第27回定期演奏会「No Name Players' Concert 27th」を開催しました。演奏曲は「《風紋》(原典版)」、「私のお気に入り」、「Twinkle, Twinkle, Little Star」Variations for Wind Ensemble (Revised Edition)」など3部構成8曲、約2時間の演奏会となりました。演奏以外にも、2部ではゲームをモチーフにオリジナルの冒険活劇の進行と共に演奏が行われる演出など会場と一体になって楽しむことができました。



高専

ロボコン



優勝した本郷Aチーム

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016 東海北陸地区大会

平成28年10月9日(日) 氷見市ふれあいスポーツセンター

本郷キャンパスAチームが優勝！ 射水キャンパスAチームがベスト4進出！

本校が主管となり「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016東海北陸地区大会」が開催されました。本郷キャンパス Aチーム「プロジェクトA」(プロジェクトラムダ)、Bチーム「鱈寿司ボックス」(マスズシボックス)、射水キャンパスAチーム「Qlip」(キューリップ)、Bチーム「AK3-Y2s」(アークスリーワイニス) が参加し、見事、本郷キャンパスAチームが優勝を勝ち取りました！ 本郷キャンパスAチームは国技館で開催される全国高等専門学校ロボットコンテスト2016に出場することになります。

大会結果

本郷キャンパスAチーム「プロジェクトA」

🏆優勝、特別賞受賞(田中貴金属グループ)

本郷キャンパスBチーム「鱈寿司ボックス」

🏆デザイン受賞

射水キャンパスAチーム「Qlip」

🏆ベスト4、特別賞受賞(マブチモーター株式会社)



みんなでガッツポーズ

2016年の競技課題

『ロボット・ニューフロンティア』

今年度はロボットによる「新大陸開拓」。赤、青の2チームに別れて新大陸に速く岩を築くことを競います。競技フィールドは3つ。スタート地点の港町ゾーン、スタート後にまず港町ゾーンに設置されてブロックを積み上げて灯台を完成させる。灯台を完成させたら海ゾーンへ。海ゾーンはロボットが接地してはならない。海ゾーンに設置されている船と島を利用して新大陸ゾーンにわたる。新大陸ゾーンに到着したらブロックを積み上げて岩を築き、その頂上にチーム独自のシンボルを設置する。より速く、より高い岩を築いた方が勝利となります。

本郷キャンパス

チーム構成

Aチーム プロジェクトA(プロジェクトラムダ)	
指導教員	渡辺 秀典先生
メンバー	窪田 太一(電気制御システム工学科3年) 松平 知樹(電気制御システム工学科4年) 吉田 岳(電気制御システム工学科4年)
Bチーム 鮎寿司ボックス(マズシボックス)	
指導教員	田尻 智紀先生
メンバー	山下 稜斗(電気制御システム工学科2年) 広田 勇斗(電気制御システム工学科2年) 平田 健太郎(電気制御システム工学科2年)



Aチーム

電気制御
システム工学科4年

松平 知樹



受け継がれるモノ

今回、僕たちメカテック部は東海北陸地区大会優勝という自分達が目指していた最高の成績で全国大会への切符を手に入れました。地区大会優勝は工業高専時代も含めて本郷キャンパスとしては初の快挙で、とてもうれしく思います。4回あった試合のすべてで1.2mの岩を建てることに成功し、実力を十分に発揮することができました。

しかしその結果に至るまでにはいくつものアクシデントがありました。幾度となく折れる竿、大会1週間前に壊れる膝、そして大会前日のテストラン中に動かなくなる回路。これらの困難にしっかりと対応できたのは、今まで培った知識や経験、また先輩が残してくれたノウハウなどのおかげです。この地区大会優勝という成績を今回だけのものにならないためにも、それらの技術をしっかりと後輩に継承していきたいと思っています。

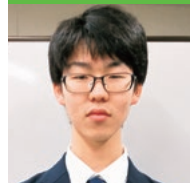
初めてロボコンに臨んで

私たちBチームは2年生が主体となってロボットを作成しました。Bチームのほとんどの人がロボコンに出場するのは初めてでした。なので、ロボコン当日まで常にバタバタしていました。今年の競技は箱運びを積む競技でした。箱を運ぶ時に接地してはいけないエリアがあるので、フィールドに設置されている台車とドローンによる風の力を用いて箱を運ぶことにしました。箱を持つ時は箱を吸盤で吸って、積む時は吸うのを止めて、置くことにしました。本番の初戦は勝つことができました。しかし、2回戦目では操作ミスで負けてしまいました。しかし、風の力を利用して、安定して箱を運ぶことができました。そのおかげで、デザイン賞を取ることができました。初めてのロボコンで初めて賞をとることができて嬉しかったです。来年は優勝できるようにがんばりたいです。

Bチーム

電気制御
システム工学科2年

山下 稜斗



射水キャンパス

チーム構成

Aチーム Qlip(キューリップ)	
指導教員	山口 晃史先生
メンバー	南日 聡太(電子情報工学科4年) 竹内 克輝(電子情報工学科3年) 今井 利幸(電子情報工学科4年)
Bチーム AK3-Y2s(アークスリーワイズ)	
指導教員	山田 圭祐先生
メンバー	木原 正志(電子情報工学科2年) 千保 樹生(電子情報工学科3年) 山田 和輝(電子情報工学科2年)



Aチーム

電子情報
工学科4年

南日 聡太



ロボコンへの取り組み

2016年のロボコン地区大会は、富山県で開催されました。その年の最上級生として大会に参加するというのは2年前に学校から伺いました。ロボコンは、チームワークとスケジューリングが非常に重要です。だから、大会が近づくにつれ、リーダーとして、部員たちを引っ張っていけるのか、不安でした。ルールが発表されてからの約半年間は、毎日が多忙でした。なんども設計変更をし、夜遅くまで作業を行いました。本番は準決勝まで勝ち進んだものの、敗退し、ベスト4という結果に終わりましたが、ロボットの機能を認められ、特別賞をいただくことができました。当日にトラブルがあったものの、部員みんなで協力することで、なんとか乗り越えることができました。

最後に、毎日部活動に付き合ってくださった、工場の方々、教官方、また、会場の運営に携わっていただいた多くの方々に感謝の意を申し上げます。

チームリーダーとして

私達のBチームは1年生から3年生までのメンバーで構成されたチームです。私はその中でリーダーとして、設計から加工・組み立ての指揮を執ることになりました。初めてロボコンに参加する1年生はもちろんのこと、設計や金属加工についても初心者で、制作が始まった頃は不安な気持ちでいっぱいでした。ようやくロボットの設計図が見えてきたのは夏休みも終盤を過ぎた頃でした。こうして迎えた本番当日、夜通し格闘して完成させたロボットは、ひとつでしたが箱を高台の上に載せる事ができました。

振り返ってみれば、リーダーとして携わったロボット製作は、様々な問題を抱えながらも、充実した日々を過ごすことができました。来年はどのような形でもロボコンに関わって満足できる1台を作りたいです。応援していただき、ありがとうございました。

Bチーム

電子情報
工学科2年

木原 正志



ものづくり・流通の現場を体験して

Study Tours

本郷キャンパス

機械システム
工学科4年
井上 崇

体験することの大切さ



私達機械システム工学科は東京方面へ3泊4日の工場見学に行ってきました。見学させていただいた工場は全日本空輸機体メンテナンスセンター、日本発条横浜工場、IHI横浜工場、新日鐵住金君津製鉄所、東京地下鉄深川車両管理所の5カ所で、どの工場でも懇切丁寧に案内してくださいました。特に印象に残っていることは新日鐵住金の高炉と熱延工場の見学です。どちらも仕組みは授業で学んでいましたが、高炉の規模の大きさや熱延工程の熱さと速さは予想以上であり百聞は一見に如かずということを感じました。今回は多くの企業で貴重な体験をさせていただき、技術者として働くイメージがより具体的に深まりました。クラス一人一人が学んだことを自分なりに生かすことで、これからの進学や就職活動に大いに役立つものと思います。

見学先

全日本空輸(株)機体メンテナンスセンター、日本発条(株)横浜工場、(株)IHI横浜工場、新日鐵住金(株)君津製鉄所、東京地下鉄(株)深川車両管理所

本郷キャンパス

電気制御
システム工学科4年
上杉 俊太郎

工場見学を終えて



私は中学生のときに読んだリサ・ランドール氏の著書「ワープする宇宙」に大型ハドロン衝突型加速器の話があり、以前より加速器に興味がありました。今回の見学で、高エネルギー加速器研究機構で研究の現場の雰囲気を感じられたことはいい経験になりました。また、放射線医学総合研究所では、加速器を使って生成した高エネルギー重粒子を照射してがん細胞を破壊する重粒子線治療を行っていました。素粒子物理学という一見何の役に立つかわからない研究が、医療分野で素晴らしい役に立つがん治療に貢献している、ある研究が様々な分野に波及していく一つの形が見られたようでした。この見学は私たちの数年後を考えるいい機会だったと思います。これから先ますます、社会に貢献できる技術者になれるよう専門性を高めていきたいと思っています。

見学先

CYBERDYNE(株)CYBERDYNE STUDIO、高エネルギー加速器研究機構、日本オーチスエレベータ(株)芝山工場、放射線医学総合研究所、東京電力(株)川崎火力発電所、(株)東芝府中事業所

本郷キャンパス

物質化学
工学科4年
酢谷 晃太

企業の現場を体験して



物質化学工学科は、デンカ青海工場、第一三共プロファーマ平塚工場、ライオン小田原工場、カゴメ富士見工場を見学しました。すべての企業を通して第一に感じたことは、環境保全の活動に積極的に取り組んでいたということです。形はさまざまですが、工場内の緑地の確保や工場排水の浄化、工場敷地内での生物多様性への取り組みなどが行われており、環境に配慮することの重要性を改めて感じました。また身近にある製品が製造されている現場を見て、品質・衛生の管理や多くの人の連携によってはじめて製品として成り立っているということが分かりました。今回4社の工場を見学して現場がどういったものか学ぶことができ、就職や進学への視野を広げることができました。ここで得た貴重な体験や経験を、進路をより具体的に考えるきっかけにしていきたいと思っています。

見学先

デンカ(株)青海工場、第一三共プロファーマ(株)平塚工場、ライオン(株)小田原工場、カゴメ(株)富士見工場

本郷キャンパス 10月18日～21日
射水キャンパス 10月25日～28日

射水キャンパス

工場見学から学ぶ進路

電子情報
工学科4年
小竹 智晃



私たち電子情報工学科は、10月25日から28日にかけて富士電機、東京エレクトロンデバイス、日産自動車、宇宙航空研究開発機構の4つの企業と東京ディズニーシーを見学させていただきました。それぞれの企業で、今学んでいることで将来使わないと思っているものも働いてみると必要になるということ学びました。また、今のうちに分からないことがあった時の解決の仕方を学ぶことが必要であることも学び、進路に迷っている私たちにとってよい刺激になりました。企業見学の間、特に問題も起きずみんな団体行動を意識し、時間にも余裕をもって動くことができました。この企業見学はこれからの就職活動、編入試験など進路を決めるためのいい機会になりました。この経験を生かしてこれからの進路について考えていきたいと思います。

見学先

富士電機(株)、東京エレクトロンデバイス(株)、日産自動車(株)、宇宙航空研究開発機構

射水キャンパス

進路を考えるきっかけに

国際ビジネス
学科4年
吉田 楓



私たち国際ビジネス学科4年生は、全日空や国会議事堂、経済産業省、東京税関を訪問させていただきました。普段は見ることのできない場所を見学し、また実際に勤務されている先輩方のお話を聞くことにより、今まであまり深く知らなかった、各訪問先での実際の業務内容について詳しく知ることができ、今後の進路選択に役立つ貴重な経験をさせていただきました。私は現在公務員という職業に関心があるため、経済産業省と東京税関の2つの機関でお話していただいた公務員試験に向けた勉強方法などを今後の進路活動に活かしたいと思います。お忙しい中、時間を割いてくださり貴重な体験をさせてくださった職員の方々に感謝したいです。またこの流通見学を通して、クラスの仲がより深まり、かけがいのない思い出となりました。

見学先

全日本空輸(株)(羽田空港)、国会議事堂(衆議院)、経済産業省、東京税関、東京大学

射水キャンパス

商船学科3年後期若潮丸乗船実習を終えて

乗船実習(商船学科3年)11月15日・16日

商船学科
高山 碧

商船学科3年の後期若潮丸実習を11月15・16日に行いました。今回は15日朝に臨海実習場を出港、15時過ぎに石川県の七尾港に入港しました。穏やかな天候だったためか船酔いする人もいつもより少なかったように思われ、無事に入港作業も終わることができました。入港後は夕方から海上保安庁講義があり、その前に希望者のみ、七尾海上保安部の巡視艇「はまゆき」を見学させていただきました。巡視艇の見学、さらにその後の講義も海上保安庁の仕事の内容についてなどはもちろん、保安学校のことについてなども丁寧に説明していただき、海上保安庁の職に興味を持った学生もあり、とても有意義な時間を過ごせました。帰りの航海も問題なく終わることができ、実践的な経験を身につけるいい実習でした。



工場見学・企業見学で学んだこと

本郷キャンパス

不二越、SMKを見学して

機械システム
工学科3年
中空 京助



10月21日(金)不二越、SMKの2社を見学させていただきました。不二越では、大型の溶接ロボットや人の動きを感知して動く産業ロボットを見ました。しかし、これらの製造には、多くの人の手が携わっていることも知りました。さらに不二越では、英語教育に力を入れていると聞きました。自分も高専在学中に、英語はもちろん他の国の言語や文化についても見識を深めたいと感じました。SMKでは、液晶ディスプレイやリモコン機器などの製造工程を見学しました。緻密な電子部品の製造装置は、複雑でしかも高速で稼働していました。その製造装置は3次元CADで設計され、温度管理された部屋で加工され、クリーンルームで使われていました。その気の配りようには驚かされました。今回の工場見学で学んだことを今後の勉強や進路選択に生かしていきたいと思えます。両企業でご説明いただいた皆様に深く感謝しています。ありがとうございました。

見学先 (株)不二越、SMK(株)

本郷キャンパス

県外工場見学に参加して

電気制御システム
工学科3年
藤原 悠貴



今回の県外工場見学では福浦風力発電所、志賀太陽光発電所、志賀原子力発電所に行きました。福浦風力発電所では実際の風車を目の前に風力発電の1年間当たりの発電量について学びました。志賀太陽光発電所では地面一面に太陽光パネルが並ぶところに行きました。1年間の発電量は風力発電とほぼ変わらず、太陽光パネルは冬の雪で埋もれないように80cmの高さに設定したり、効率よく電気を作るために、傾斜角を30度に設定したりと色々工夫している点がありました。志賀原子力発電所では実際に構内を見学しました。原発は危険だと思っていましたが、そうではなく福島を事故を教訓に、耐震制度や津波対策、事故後に被害を最小限に食い止める対策などがありました。この県外工場見学を生かしてこれからの学校生活に生かしていきたいです。

見学先 日本海発電(株)福浦風力発電所、北陸電力(株)志賀太陽光発電所、志賀原子力発電所

本郷キャンパス

県内工場見学を終えて

物質化学
工学科3年
武藤 諒



日医工株式会社富山第一工場とアステラスファーマテック株式会社富山技術センターを訪問しました。日医工は、新薬と同じ有効成分を持ち、低価格のジェネリック医薬品を製造しています。富山第一工場では様々な機器を用いてジェネリック医薬品の製造、管理、検査を行っているところを見学できました。アステラスファーマテックでは新薬を製造しており、富山技術センターでは医薬品の製造工程によって区画分けされ、薬の種類や状態に応じて定められた基準に基づき室内の圧力を調節したり、防具をつけることで作業員の安全確保をしていたのが印象的でした。工場見学では富山高専の卒業生の方と話をする機会もあり、先輩たちから働く中で自制、想像、コミュニケーションを大切にしていること、自ら成長するため自学自習・挑戦している様子を感じました。学生のときから実験などの授業で知識や実験スキルを伸ばしていくことが大事だと感じた工場見学でした。

見学先 日医工(株)富山第一工場、アステラスファーマテック(株)富山技術センター

射水キャンパス

企業見学を通して

電子情報
工学科3年
田村 光



私たちは日立国際電気とYKKの企業見学に行ってきました。日立国際電気は集積回路に大切な半導体の成膜分野で世界トップレベルの技術力をもっていました。また安全性を特に重視しており、大きな会社のところどころに消火器や担架がおいてあったり、曲がり角にカーブミラーが設置してあったりしていました。このように事故を未然に防ぐ、事故が起こってもすぐ対処できる設備は大切なことです。社員と会社のことを考えるいい会社だなあと感じました。YKKでは6カ国経営体制をとっているため海外へ行く社員が多いみたいでした。そのため英語を学ぶ場を設けていました。社員が成長することが会社の成長のだと感じました。この企業見学を通して私は社員のことを考えてくれる、自分が成長できる会社に勤めたいと思いました。

見学先 (株)日立国際電気、YKK(株)

本郷キャンパス 10月21日
射水キャンパス 10月28日

射水キャンパス

県内企業見学を終えて

国際ビジネス
学科3年

吉田 圭佑



最初に訪問した富山第一銀行では、銀行という組織の重要さ、大人としての気品を感じることができました。銀行は私たちが豊かな暮らしを送れるようにお金を繋げている、とても身近な存在だと分かりました。また行員の方々の立ち居振る舞いを見て、この人達ならばお金を預けられる、と実感しました。次に訪問したスギノマシンでは、ウォータージェットをはじめ、世界で勝負をする技術が生まれる場所を見ることができました。「挑戦を大事にする社風」と人事の方がおっしゃるように、様々な分野に進出して、変化を恐れない印象を受けました。また当学科卒業生の「大変だが、辞めたいとは思わない」というお話から、充実している様子が伝わってきました。今回の企業訪問は、私たちにとってとても有益な体験になりました。

見学先 (株)富山第一銀行、(株)スギノマシン

射水キャンパス

県内工場見学

商船学科3年

中西 柚巴



3年生の職業意識を醸成し、県内企業に対する認識と理解を深めさせるとともに、将来の進路選択について考えることを目的として、下記の要領で県内工場見学が実施された。富岩水上ラインに乗船して遊覧船の運航について学ぶとともに、船に乗って日本最大級の高低差を体験できる国指定重要文化財中島閘門を見学した。また、YKKではファスナーや窓の製造について学んだ。今回の工場見学で、学生はこれまで意識していなかった様々なことに興味や関心を持つことができ、非常に有意義な見学会となった。

見学先 富岩水上ライン(歴史的港湾構造物等の見学、船舶運航の見学)、YKK(株)黒部事業所

校外研修を終えて

工場見学(本郷2年生)・遠足(射水2年生)

本郷キャンパス

OB・OGの方のお話を聞いて

物質化学
工学科2年

浅尾 朋乃佳



今回の校外研修ではYKK黒部工場を訪問しました。まず丸屋根展示館内を案内していただき、ファスナーがどのように作られているかを知ることができました。普段私たちが着ている服のファスナーを見てみるとYKKの文字が必ずと言っていいほど刻まれていて、世界規模で有名な企業なのだ改めて実感しました。その後、YKKで勤務されているOBやOGの方との座談会があり、質問などを通して会社の雰囲気や女性社員に対する福利厚生についてなど、実際に働いておられる方の話を直接聞くことで、自分自身の将来を考える上で参考になりました。また大学を卒業して就職すると、高専を卒業して就職するのでは、かなり状況が異なるという事を聞いて大変驚きました。自分がどのように働きたいかによって、大学へ編入すべきかの判断が変わってくる事を実感しました。機会があれば他の企業の方のお話も聞いて、自分の卒業後の選択肢を広げていきたいです。

見学先 立山カルデラ砂防博物館、YKK(株)

射水キャンパス

高山市内遠足

10月21日

商船学科2年

澤井 孝那



射水キャンパスの2年生は、遠足として高山市内散策を行いました。限られた滞在時間を有効に使うため、事前に班ごとで見学場所を決め、行動計画を立てました。そして高山別院を起点として、日本に現存する唯一の江戸時代の郡代・代官所である高山陣屋をチェックポイントとして市内を散策しました。私たちの班は、まず高山昭和館にて見学と写真撮影を楽しみました。その後、高山の歴史ある町並みを楽しみながら、高山グルメを味わいました。天候にも恵まれ、友人とともに歴史散策を楽しむことができ、非常に有意義な遠足となりました。

見学先 岐阜県高山市内

ICET2016

開催日：平成28年10月13日(木)・14日(金)

会場：富山県民会館

International Conference on Engineering and Technology 2016

富山高等専門学校とタイ国・キングモンクット工科大学ラカバン校(KMITL)は学術交流協定を締結し、長きにわたり連携した研究や教育ならびに国際交流事業を実施してきました。今年度その活動の一環として、平成28年10月13日(木)に富山県民会館にて国際会議『International Conference on Engineering and Technology (ICET2016)』が開催されました。このような国際会議の開催は今回で3回目となります。本会議には、本校ならびにKMITLのほか、他大学の教員・学生、技術振興会企業など約130名が参加しました。

開会に先立ち、石原校長によるキーノートスピーチが行われ、その後両校教員によるオーラルプレゼンテーション、KMITLコムサン工学部長によるスペシャルレクチャー、技術振興会企業6社によるプレゼンテーション・ポスター発表のほか、本校専攻科生によるポスター発表など、日頃の研究成果発表が行われ、活発な議論が交わされました。



石原校長によるキーノートスピーチ



コムサン工学部長によるスペシャルレクチャー



専攻科生ポスター発表の様子



機械・電気システム
工学コース1年
江瀬 文人

ICETを経験して

ICET2016のポスターセッションで初めて英語での研究成果発表を行いました。話す内容や伝えたいことは、あらかじめ練習していた通りに発表できました。しかし、質問がうまく聞き取れなかったり、聞き取れた場合でも回答を英語で思うように表現できず、とても悔しい思いをしました。今後、このように英語で研究成果発表を行う機会があれば積極的に参加し、そのためにも、より一層英語学習に力を入れたいと思います。また、ICET2016では自身とは異なる様々な研究分野における発表を聴講でき、非常に興味深く感じました。自身の研究と近い研究発表も複数あり、今後の研究活動の参考となりました。さらに、企業紹介もあり、ビジネスにおいても英語が重要であることを実感しました。英語での研究成果発表ということで不安も多かったのですが、ICET2016を終えて振り返ると非常にいい経験ができたと感じています。この経験を今後活かせるように専攻科においても勉強・研究活動に励んでいきたいと思っています。



制御情報システム
工学専攻1年
大島 佑太

ICET2016に参加して

10月13日、富山県民会館で行われたICET2016のポスターセッションに参加しました。私にとっては2度目の国際学会への参加です。私は太陽光発電の発電量シミュレーションに関する研究を行っており、今回はその成果に関する発表を行いました。私の研究について、数人のタイから参加の方々に興味を持っていただき、英語で意見交換することができました。普段、自分の研究について英語で討論することはあまりありません。そのため、練習どおりに説明するだけでも苦戦しましたが、その方々は私の研究を理解しようと非常に熱心に聞いてくれました。研究について国際的に意見を交換し、研究の推進に繋げることができる非常にいい経験となりました。

合同球技大会

平成28年11月11日(金)

両キャンパス学生会が主催となり、合同球技大会を開催しました。「球技を通じて両キャンパスの学生の交流をはかり親睦を深める」ことを目的とし、低学年は射水キャンパス、高学年は本郷キャンパスを会場に行いました。当日は雨天のため、体育館にてドッジボール、ビーチボール、バスケットボールの3種類の球技を、また本郷キャンパスでは初めての試みとして学科対抗リレーも行いました。

本郷キャンパス会場 4・5年生 専攻科

👑 各競技 優勝チーム

ドッジボール	機械システム工学科4年
ビーチボール	射水キャンパス専攻科Aチーム
バスケットボール	電気制御システム工学科5年
学科対抗リレー	機械システム工学科



射水キャンパス会場 1～3年生

👑 各競技 優勝チーム

ドッジボール	電気制御システム工学科3年Aチーム
ビーチボール	国際ビジネス学科3年Aチーム
バスケットボール	商船学科3年Aチーム



電気制御
システム工学科4年
深山 友有治



合同球技大会を終えて

本郷キャンパス学生会体育局長として合同球技大会の企画運営を行いました。前期に行った本郷キャンパス球技大会での企画運営の経験を生かして、計画的に進めることができましたと感じています。今年度からエントリーシートをExcelファイルで提出してもらい、SUM機能等を採用したことによってメンバー表作成の作業を簡略できました。しかし、試験期間などの学校行事日程がキャンパス毎で異なっているため、射水キャンパス学生会体育局長と連絡を取り合い、大会の実施要項を修正していくのが大変でした。大会当日は競技ルールが明確でなかったために競技参加者の方々から様々な指摘を受けました。この時改めて、リーダーとして明確な指示を出すことの難しさを実感しました。リレー開催のために、急遽グラウンド整備を行った時は平常心で作業指示を行うことができ、対応能力が身についたと感じました。今後も、様々な経験を通して、人として成長できればいいかなと思います。

電子情報
工学科4年
谷野 文哉



球技大会を終えて

今まで3年間、ただただ当日だけを楽しんでいた「球技大会」というものの苦勞を知りました。それは思いのほか、非常に時間のかかるものでした。大変だったのは当日や前日の準備ではなく、それまでの約半年にも及ぶ準備でした。まず、球技大会までの計画を立てました。テスト期間や夏休みのことなどを考えて立てると、何ヵ月前であるにもかかわらずあまり時間がないということが分かりました。それから、何度も集まって会議をしたり、本郷の体育局長の方々や先生とテレビ会議をし、連携を図ったりしました。実施要項を作成するにあたって、仮のものを作ってから修正する作業に苦勞しました。修正しても新しい修正点が出てきたり、修正時に違う部分を変更してしまい修正点が増えたりしてしまったからです。この球技大会を通してとてもいい経験をする事ができました。きっとこの先役に立つ経験になったと思います。

本郷キャンパス

教務主事

寺西 恒宣



アクティブラーニング

2016年、今年も日本からノーベル賞受賞者が出ました。昨年の梶田博士(物理学賞)、大村博士(医学・生理学賞)に続く大隈良典博士(医学・生理学賞)です。細胞内におけるリサイクリング機能、オートファジーの仕組みの解明が評価されたものです。また、オリンピックでも、水泳、体操、レスリング、柔道、バドミントンをはじめ多くの種目でメダリストが誕生しました。ノーベル賞受賞者とオリンピック選手のフィールドは異なるものの、また、メダル受賞の有無にかかわらず、いずれの方々も、他人に言われて嫌々するのではなく、自らのやりたいことに向かって、失敗してもくじけず、自ら解決方法を考えやり抜いてきた結果が今日の成果につながったと、達成感に満ちた笑顔でテレビのインタビューに答えているのが印象的でした。このような明るい話題は、地震や台風で被害を受けた人々の心を癒し日本に活力を与えてくれましたが、同時に、ノーベル賞受賞者やオリンピック選手たちが、皆、「自ら学ぶ」姿勢を有し、目標に向かって取り組んでいることも示してくれました。「自ら学ぶ」姿勢は勉強や運動に限らず、また、在学中も、社会に出た後も、ずっと重要な能力の一つです。

本校では、学生諸君が自らの到達目標に向かって楽しく学び、実力をつけていけるよう、教育改善の一つとして、アクティブラーニング(Active Learning:AL)という教育手法を取り入れ普及を進めています。それは、まさしく学生が主体的に学びを行う「自ら学ぶ」姿勢(能力)を育むもので、PBL型、反転授業、グループワーク、ディスカッション、ICT活用などの形態があります。学習方法によって学生の学習効果(記憶に残る割合)は大きく異なり、教員主導の伝達型(講義を受けるだけ)では5%程度ですが、視聴覚形式や実験などのデモンストレーションを加えると20~30%に、さらに学生主体の参加型(例えばグループ討論や体験形式)では75%、ほかの人に教える教授形式を加えると90%に達すると言われております(ラーニングピラミッド)。学生諸君が授業以外での復習や予習を行うことにより、より一層の効果が期待されるものです。

射水キャンパス

教務主事

中谷 俊彦



ぼちぼちと・・・

他人と一緒に何かをしているときに、相手に「どう、進んでる?」と問いかけて、「う～ん、ぼちぼち…です。」と答えられたら皆さんはどんな印象を持ちますか? 「わずかしか進んでいない」と言えますが「そこそこ進んでいる」とも言えます。また地域によっても解釈は違います。はっきりしない回答ですが将来のいろいろな可能性も否定しない言い方でもあります。「ぼちぼち」という表現は、勉強や仕事の進み具合、現在の心身の状況、自分を取り巻く人間関係など、万能な使い方ができます。

いきなりですが「恋は盲目」という言葉があります。言うまでもなく恋に落ちると、理性や常識を失ってしまうという意味です。以前読んだ心理学と脳科学について分かりやすく書かれた本によれば、この「盲目」状態が脳科学的に明らかになってきたようです。恋愛の初期段階(つまり盲目状態)では脳内で特定の物質が分泌されたり、特定の場所が活性化されることがMRIなどによって科学的に確認されるらしいのです。しかし、その後…やがて活性化状態は解消してしまいます(つまり、相手に飽きてしまう!)。何となく悲しい話になりつつありますが、この後の話が重要なのです。活性化状態が解消された後も相手とのつき合いを続けていると、まったく別の部分が緩やかに活性化し、居心地のよい状態に移行していくのです。この現象は老夫婦に多く観察される状態とのことです。

整理すると①盲目状態→②飽きる→③別の部位が再活性化し安定で心地よい状態になる、ということです。そしてこのストーリーは、何となく相性が合わない相手に対する感情にも言えるらしく、この場合、何となく嫌だなどという第一印象→嫌だという感覚に飽きる→別の部位が再活性化し安定した状態になる、ということです。この話のポイントは①、②を経ることなく③に一気に到達できないところです。最初は楽しいと思えたことも人間はだんだんと飽きてくるし、エネルギーも湧いてこなくなります。しかし、それなりに続けているとその先には別の状態が待っています。①→②の変化に対して②→③は「ぼちぼち」としか進まないようなのですが、「そこそこ進んでいる」とも言えます。

最近いろいろなことに飽きてきた学生さん、今は②→③に進んでいるときなのです。何かに疲れても、あせらずに「ぼちぼち」といいませんか。その先には居心地のよい状態があなたを待っているはずですよ。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

第2回ジュニア世界空手道 選手権大会にて 商船学科の学生が素晴らしい成績

7月9日にカザフスタン共和国(アスアナ)で開催された、第2回ジュニア空手道選手権大会において、商船学科の学生が素晴らしい成績を収めました。

男子55+級3位 二保 海大(商船学科1年)
男子-60級1位 小嶋 源(商船学科1年)



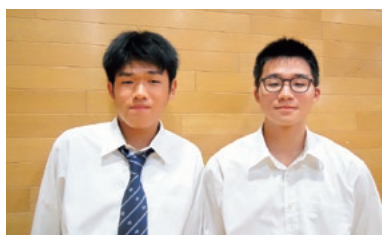
校内カッターレース大会を 実施しました



7月19日(火)に、本校臨海実習場にて、校内カッターレース大会が実施されました。この大会は、例年本校の学生や教職員によって行われてきたクラス対抗レースで、カッター艇(長さ9mの手漕ぎボート)を14~26名のチームで漕ぎ、その速さを競い合う大会です。本年度は、保護者有志によるチームにもご参加いただきました。本来の開催予定日であった14日は天候不良のため順延となりましたが、予備日の19日には、空は青く澄み渡り、海も鏡のように穏やかで、全チームが全力でオールを漕ぐことができました。たくさんのお見学者様にご来場いただき、応援も大いに盛り上がりました。

とやま科学オリンピック2016で 物質化学工学科2年のチームが 銅賞を受賞しました。

8月11日(木)に開催された「とやま科学オリンピック2016」高校部門「化学」において、物質化学工学科2年の中西悠仁さん、毛利崇力さんペアが銅賞を獲得しました。二人は12月10日(土)に富山国際会議場で開催される「富山県教育フォーラム」において、賞状と副賞が授与されます。



専攻科学生が海外インターン シップに参加しました。

本年度も本校では、夏季休業中に専攻科学生を海外でのインターンシップに派遣しました。タイ、マレーシアの企業でのインターンシップ(2週間)に加え、今年度からはハンガリーの大学(パズマニーペーテルカトリック大学、ブダペスト工科経済大学)での1カ月のインターンシップも実施しました。

多くの高専からの海外大学へのインターンシップは、アジア地域のポリテクなど、技術系短期大学への派遣が中心ですが、本校では一般的な大学への研究を中心としたインターンシップを実施しており、高専機構内でも例の少ない取り組みです。今後の学生たちの勉学、研究に期待したいと思います。



電気制御システム工学科1年生が WRO2016国際大会に出場します!



9月18日に開催された「WRO2016 Japan決勝大会」において、電気制御システム工学科1年の李知祐さんと富山中部高校の合同チーム「サンダーバード59号」がレギュラーカテゴリーエキスパート競技高校生部門で準優勝を獲得し、見事、日本代表として選抜されました。WRO(World Robot Olympiad)は2004年から始まった自律型ロボットによる小中高生たちの国際的なロボットコンテストで、今年度は52カ国地域、2万チーム、約5万人から選抜された350チームの参加により、11月にインド・ニューデリーで国際大会が開催されます。

専攻科生が日本金属学会 優秀ポスター賞を受賞しました

専攻科エコデザイン工学専攻2年生の竹村沙友理さんが、日本金属学会2016年秋期(第159回)講演大会(大阪大学豊中キャンパス)にて優秀ポスター賞を受賞しました。





学生相談室からのお知らせ

Information

本郷キャンパス 学生相談室本郷キャンパス室長 高橋 勝彦

この文章に目が止まった君たちへ。

世の中に、悩み、戸惑い、不満がない人はいません。学生相談室は、相談員が学生の悩み、戸惑い、不満等を聞く場所ですが、楽しいことを「おしゃべり」する場所でもあります。「悩みがない」「悩みはあるけど人に話するのは…」という人も、「こんなことは笑われるかも…」などと思わずに、気軽に訪ねてみてください。必要ならばカウンセラーの助けを借りることもできます。相談の内容については秘密が守られますので、安心して相談しにきてください。

保護者の方へ。

学生相談室は、定期的な実施するアンケートや心理テストにより、学生の心身不調の発見や予防に努めておりますが、くわえてご家庭の協力が不可欠です。そこで学生相談室は、保護者からのご相談にも対応しております。専門家とのカウンセリングを希望される場合は、下記の連絡先にご連絡ください。

相談を希望される場合の連絡先

TEL 076-493-0533 (保健室)

メール gaku-soudan@nc-toyama.ac.jp

相談室のスケジュール

月～金曜：15:30～17:00 相談員(各学科教員)

火・水曜：13:00～17:00 カウンセラー(臨床心理士)

場所：相談室(学務課から専攻科棟の間)

備考：試験期間中、長期休業期間中は閉室します

射水キャンパス 学生相談室射水キャンパス室長 早勢 欣和

「学生相談室」は、学生のみなさんが生き生きと充実した学生生活を送れるようサポートさせていただくことを目的に設置されています。

高専生活は思春期とも重なる5年間、商船学科は5年半の長期間ですが、誰もが多くの悩みを抱え、自分と向き合いながら社会に巣立つための準備期間ともなります。学校生活でも、様々な悩みや迷いに遭遇するかもしれませんが、問題を一人で抱え込まないようにと思います。

一つ的手段として、また何となくでもよいので、相談室にも気軽に訪ねて来てほしいと思います。学生相談室は、教員から選出された室長1名、相談員4名及び看護師で構成され、週2回、臨床心理士資格を持つカウンセラーも来校されます。なお、保護者の方の学生に関する相談も受けています。

相談を希望される場合の連絡先

TEL 0766-86-5140 (保健室)

メール soudan@nc-toyama.ac.jp (相談室長と看護師宛)

相談室のスケジュール

月曜：14:30～17:30

カウンセラー(臨床心理士)

水曜：13:30～17:30

カウンセラー(臨床心理士)

火・木・金曜：15:30～17:00 相談室員(教員)

場所：学生相談室(保健室のとなり)

備考：試験期間中、長期休業中も事前連絡いただければ

対応させていただきます

富山高等専門学校 平成29年度入試情報

学科生募集

中学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成29年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦によるものと学力検査によるものの2つの方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

本郷キャンパス

機械システム工学科 入学定員 40名
電気制御システム工学科 入学定員 40名
物質化学工学科 入学定員 40名

射水キャンパス

電子情報工学科 入学定員 40名
国際ビジネス学科 入学定員 40名
商船学科 入学定員 40名

選抜方法

推薦による
選抜

平成29年1月22日(日)
面接 定員の50%以内

学力検査による
選抜

平成29年2月19日(日)
理科、英語、数学、国語、社会
(マークシート式)

なお、入試関係情報の詳細については、学生募集要項または下記でご確認ください。

申込・
お問い合わせ

本校HP入試情報

http://www.nc-toyama.ac.jp/

本郷キャンパス学務課 入学試験担当

電話 076-493-5498

射水キャンパス学生課 入学試験担当

電話 0766-86-5145

問い合わせ先	本郷キャンパス：〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 射水キャンパス：〒933-0293 富山県射水市海老江総合1番2	TEL 076-493-5402 TEL 0766-86-5100	http://www.nc-toyama.ac.jp/
--------	---	--------------------------------------	-----------------------------

編集・発行 富山高専広報戦略室 編集担当者 中島栄次(本郷キャンパス) 山口晃史(射水キャンパス)



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。